



各 位

平成 28 年 2 月 10 日

会 社 名 株式会社 SOL Holdings
代 表 者 名 代表取締役社長 赤尾 伸悟
(JASDAQコード・6636)
問 合 せ 先 取締役管理部長 中原 麗
電 話 03 - 3449 - 3939

継続企業の前提に関する事項の注記に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において平成 28 年 3 月期第 3 四半期決算短信に、下記のとおり継続企業の前提に関する事項について注記することといたしましたので、お知らせいたします。

記

当社グループは、前連結会計年度まで過去 6 期連続（単体は 6 期連続）して営業損失を計上し、当第 3 四半期連結累計期間においても、営業損失 12 億 91 百万円を計上しております。当該状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社は当該状況を解消すべく、バイオ燃料事業においては、メキシコにおいて 80 百万円の予想値に対し 17 百万円の売上計上を行いました。また、現在メキシコにおきましては、110t のスーパーソルガム種子購入申込みを受けており受注した一部につき納品時期、決済条件確定を平成 28 年 3 月期終了までに実施し一部の売上計上を行う予定です。さらにメキシコ合衆国農畜水産農村開発食糧省よりメキシコ国内においてスーパーソルガムの栽培を推奨されることで、さらなる受注獲得を目指してまいります。タイにつきましては昨年 2 月に現地企業である SORG JT との間で締結した独占販売契約に基づき、種子購入を前提とした試験栽培を実施し SORG JT より提示された条件である初回 100t/ha は既に達成しており、種子販売に関する売買契約締結に向け協議を行っておりましたが、平成 28 年 2 月上旬に SORG JT 側より 3 番草までの収穫を確認したい旨の要請を受け、現在現地法人において 3 番草収穫に向けた栽培管理を実施しております。これにより、今期内におけるタイ SORG JT に対する独占販売契約記載の 150t の種子販売につきましては納品が間に合わないこと

が予想されます。タイにおいては、引き続き SORG JT 社とのスーパーソルガム種子の受注に関する契約に向けて協議を進め早急の売上計上に繋げてまいります。新規事業領域であるレストラン・ウェディング事業では、店舗の収益性の改善を図るために、不採算店舗の撤退を進める予定です。具体的に、平成 28 年 1 月までに 1 店舗、平成 28 年 5 月までに 1 店舗を閉鎖することにより通期で 50 百万円の赤字が解消できる予定です。その他に既存店舗のコストの削減、収益構造の改善によって 20 百万円の赤字解消を見込んでおります。今後も上記の着実な実行を図ることにより、安定的に営業利益及び営業キャッシュ・フローを獲得できる体制の構築に取り組んでまいります。

しかしながら、受注動向や経済環境によって影響を受ける可能性があるため、継続企業的前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業的前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

以 上